

# 関西ワーカーズ・コレクティブ

関西ワーカーズ・コレクティブ連合会ニュース

vol.32 2022年7月18日

発行 / 関西ワーカーズ・コレクティブ連合会

・FAX / 072-341-0022

・メール / kansaiwco@gmail.com

・ホームページ / 右のQRコード→

編集・制作 / W.Co パックプランニング



## 2022年度 第8回 関西ワーカーズ・コレクティブ連合会 通常総会を開催しました

6月18日(土)、エスコープ大阪本部食堂にて開催。会場とZoom出席でおこないました。加入団体11のうち、会場出席2・Zoom出席5・書面議決書4で総会は成立し、すべての議案が承認されました。質問・意見と回答の一部を要約して報告します。

[2021年度活動報告について]

### ●ホームページのリニューアルについて具体的に。

▶連合会の活動やワーカーズ・コレクティブを広く知ってもらうためにリニューアルした。講座案内や活動報告など頻繁に更新していきたい。

### ●執行部の役割分担があいまいというのは？

▶年度当初に決めた役割分担通りにはいかなかった。2021年度途中で事務局を置いたが、22年度は副代表と広報を加え、それぞれの役割を明確にしてすすめたい。

### ●執行部の設置は運営委員会の議事をスムーズに運営する目的だったと認識しているが、結果として分散しているのであれば執行部の継続は難しいのでは。

▶運営委員会で話し合い、執行部体制を充実させて継続していこうとなった。WNJ(ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン)の会議への参加が増えているので、代表ひとりに偏らせず、副代表、事務局で分担し情報を発信していく。

### ●参加できていない運営委員がいるのは課題では。意見は反映できているのか？

▶業務が忙しく参加できないと聞いているが、参加できるように継続して検討していく。

[2022年度活動方針より]

コロナ禍で人と人が直接出会い集う機会が失われていき、感染拡大防止のために事業が縮小し経営への影響が出ている団体もあります。一方で、オンラインを活用した集会の開催や参加、情報の入手などは活動の後押しにつながりつつあります。感染拡大の状況を見ながら、直接出会う機会も作りつつ、互いに助け合い支え合う地域づくりの一環としてワーカーズ・コレクティブの発展・継続の後押しをしていきたいと思えます。



WNJや生協との連携を図り、一般の方々にもワーカーズ・コレクティブの働き方を広めていけるように活動の活性化を目指します。

[2022年度活動計画について]

### ●エスコープ大阪との意見交換会が年4回から年2回に減っているのはなぜ？

▶連合会として協議会とするまでの活動方針や施策が明確ではなく、意見交換会として4回開催したが、参加できないワーカーズもあった。連携していくためには必要な場と運営委員会で確認し、負担のないよう2回とした。

### ●WNJの会議参加が忙しくなって、関西での活動がしんどくなっているのでは。

▶多くの時間はとられているが、会議に参加することでつながることもあり、全国の状況がわかる。会議参加を分担して継続参加し、関西の動きが滞ることがないように協議していきたい。

[2022年度予算について]

### ●役職手当より事務局費が高額になっているが、役割を詳しく。WNJの会議参加が負担となり、業務が増えていることで事務局を置くというのは本末転倒。

▶代表が担っていた部分を事務局に移譲する。事務局費を前年度は月5,000円だったのを月10,000円とした。事務局が仕事として請けることで代表の負担を軽減し、誰でも代表を担えるように、また連合会の運営が滞らないように事務局体制を作していきたい。

▷(意見)ワーカーズ外から仕事を担ってもらっている。十分な額ではないが、報酬として確保する必要がある。

▷(意見)事務局を置いて代表の負担が減っているように思う。必要な経費だと思う。

### 【運営委員】

佐藤 啓子(W.Coはんどtoはんど/カフェ)  
白江 祐子(コーヒー焙煎ワーカーズ珈琲工房まめ福/コーヒー焙煎)  
秦中 智美(W.Coかくや姫/配達)  
田口 志保(W.Coふるんと/電話受付)  
田中 純子(W.CoWITH/店舗/配達)  
辻 久美子(W.Coキッチンよりあい/食事作り)  
坪井 知子(NPO法人ワーカーズ・コレクティブはんど/福祉)  
中島 紀子(NPO法人福祉ワーカーズほーぷ/福祉)  
西谷 英子(W.Coつむぎ屋/食事作り)  
西村 一美(W.Coパックプランニング/編集・デザイン)  
山田 恵子(W.Coあすか/配達)

### 【監事】

井元 智奈美・石川 いずみ

ワーカーズ・コレクティブとは、地域に暮らす人たちが、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を事業化し、自分たちで出資し、経営し、労働をも担う働き方をいいます。